



大森 正治 議員

# 消費税増税 中止の働きかけは？

町長

求める考えはない

【大森】4月の消費税8%に増税後、GDPは2期連続マイナス成長。これはアベノミクスによる物価上昇と増税による実質賃金が下がったからである。

この増税不況で地域経済も国民の暮らしも深刻である。町民の暮らしや地域経済にどんな影響が出ているか。

10%への増税は延期でなく中止すべきと考える。中止を政府に働きかけないか。

【町長】増税の影響は否定できないが、経済的指標から雇用状況や公共投資の面で持ち直している。

増税は、社会保障費の財源として必要で、増税中止を求める考えはない。

【大森】消費税に頼らない別な道があるか。

【町長】日本共産党の主張である。



収穫を喜ぶはずが・・・

## 米価大暴落の 影響と対策は？

町長

県・農協などと  
連携していく

【大森】平成26年産米の価格は、生産費1万6千円の半値という大暴落である。それによる影響と予想される事態は。

【町長】再生産の資金不足、生産意欲の減退、耕作放棄や離農による荒廃農地の増が予想さ

れる。

【大森】国へどんな働きかけをするのか。

【町長】米の需要拡大対策、非主食用米の恒久的な制度構築など、県や農協などと連携して要望する。全国町村長大会でも国に要望している。

## 人間ドック受診の 制限撤廃は？

町長

困難である

【大森】人間ドックによる受診率向上のため年齢・人数制限は避けるべきである。

財政よりも希望者全員の受診を優先すべきではないか。

【町長】国保会計の逼迫により困難である。

【大森】不足分は一般会計から繰り入れたらどうか。

【町長】いろいろ考えてみる。

【大森】医療機関受け入れを可能にする方策は。

【町長】来年度は町内医療機関の案内を強調する。



健康維持のために健診を